

イソトレチノイン

〈イソトレチノインとは〉

ビタミンAの一種で、皮脂の分泌を抑える作用、アクネ菌に対する抗菌作用、抗炎症作用にすぐれ、重症のニキビに効果がある薬剤です。

※海外では、重症のニキビ治療に有効な薬剤として認知されていますが、日本では厚生労働省の承認が取れていないため、保険が適応されません。

〈イソトレチノインの作用〉

① 皮脂抑制

皮脂を分泌する皮脂腺を縮小させ、皮脂の分泌を減らします。

② 皮膚のターンオーバーの促進、新陳代謝の促進

真皮から表皮の細胞が入れ替わります。イソトレチノインはこのターンオーバーを促進します

③ 抗炎症作用・抗酸化作用

皮脂の酸化を抑え、ニキビの炎症や悪化を押さえます。

〈治療ができない方〉

- ・ 妊娠中の方、妊娠の可能性がある方、妊娠を希望されている方
- ・ 授乳中の方
- ・ 15歳未満の方や成長期で身長が伸びている方
- ・ イソトレチノイン製剤、トレチノイン製剤、ビタミンAでアレルギーを起こしたことのある方
- ・ テトラサイクリン系の薬剤（ビブラマイシンやミノマイシンなど）を内服されている方
- ・ うつ病その他の精神疾患で治療中の方
- ・ 肝機能障害のある方
- ・ 中性脂肪、コレステロールの高い方
- ・ ビタミンA過剰症の方
- ・ 大豆アレルギーの方（アクネントレントには、大豆油が含まれているため）
- ・ メトトレキサート内服中の方

*イソトレチノインの重大な副作用の一つに、妊娠している女性に投与すると**流産**や**胎児の奇形**を引き起こすという副作用があります。

以下の通り、服薬期間中は避妊をお願いします。もし妊娠した場合は、すぐに服薬を中止してください。

〔女性の場合〕

- ・ 服用中と服用前後1 か月は必ず避妊をしてください。
- ・ 妊娠中・授乳中の方も内服できません。

〔男性の場合〕

- ・ 服用中と服用後 1 か月間は必ず避妊をしてください。

イソトレチノインの投与期間中と投与を終了してからの一定期間（女性の場合は内服終了1 ヶ月間、男性は内服終了後1 ヶ月間）は決して妊娠しないようにして下さい。

(※妊娠をお考えの女性は、イソトレチノイン治療と妊娠の計画をしっかりと立てた上で、治療を検討してください。)

〈副作用〉

◎**催奇形性**：妊娠中に内服している場合、胎児に異常を及ぼす可能性が報告されています。

その他の副作用としては以下のようなものがあります。

- ・ 鬱、精神病（幻覚、幻聴）、自傷行為、自殺企図などの重大な精神疾患
- ・ 肌や唇など皮膚や粘膜の乾燥症状
- ・ 鼻の粘膜が乾燥した場合に生じる軽度の鼻血
- ・ 頭痛
- ・ 発疹、軽度の痒み、落屑
- ・ 眼瞼炎、結膜炎、視覚障害（角膜混濁、夜間視力低下など）
- ・ 筋肉痛や関節痛、横紋筋融解
- ・ 肝機能障害やコレステロール値の上昇
- ・ 脱毛（一時的なもので、内服終了後に回復します）
- ・ めまい、吐き気

〈内服中の注意点〉

- ・ 必ず指示に従って服用してください。
- ・ 服用期間中とその前後 1 か月間に性行為をする場合は、必ず避妊を行ってください。
- ・ 服用期間中と最終服用後 1 か月間は献血をしないでください。（献血から作られる血液製剤は妊婦に使用される恐れがあり、胎児がイソトレチノインの影響を受ける可能性があります。）
- ・ 治療開始後、最初の数週間でニキビが悪化する方もいますが、治療を継続することで改善しますので、自己判断で中止しないでください。

〈料金〉

当院ではアクネトレントという製品を採用しております。

イソトレチノイン 10 mg 30 錠 6,800 円（税込）

イソトレチノイン 20 mg 30 錠 7,800 円（税込）

※初回は原則として 30 日分の処方となります。

※保険適応外の自由診療となります。

〈イソトレチノイン治療の流れ〉

イソトレチノイン内服後、個人差はありますが、副作用が出る場合があるため、安全性のため血液検査を行いながら、以下のような流れで治療を行います。

①診察・血液検査

- ・トレチノイン治療の適応と判断され、ご希望の方には血液検査を行います。
 - *3 か月以内にほかの医療機関で必要な検査をされている場合は結果をご持参ください。
 - *ご希望の場合、検査項目（血液一般・肝機能・腎機能・脂質・CK）を自費診療（4500 円）で行います。

②イソトレチノインの服用開始

- ・投与量は 20mg を 1 日 1 回食後内服から開始します。（体重 70kg 以上の方は 30～40mg から開始することもあります）
- ・イソトレチノインが皮膚に影響を及ぼし始めるのに 1 週間前後かかります。

③服用 30 日後に再度診察

- ・イソトレチノインの効果が出ると、皮脂が抑制されるため唇や肌が乾燥します。
- ・皮膚のターンオーバーも促進されてくるとニキビがむしろ悪化したり、角栓が増えたりします。
- ・乾燥がひどくなっていくと同時に唇の皮むけや皮膚の皮むけが起こります。
- ・乾燥に対しては保湿につとめてください。
- ・イソトレチノイン治療中は紫外線を出来る限り避けてください。
- ・治りが弱い場合は、増量することもあります。
 - ご希望の方に、再度血液検査を行います。（自費診療です）

④30 日目～60 日目（60 日目に再度診察）

- ・個人差はありますが、新しいニキビが出来にくい状態になってきます。
 - *この期間中に新しいニキビが出るようでしたら、その程度に応じて増量する場合があります。

⑤60 日目以降（状況に合わせて適宜診察）

- ・ある程度、安定期します。
- ・増量した方はその効果を判断して内服量を調節させていただきます。

⑥180 日目（180 日目前に診察）

- ・ニキビができにくい肌の状態を確認させていただき、診察は終了とさせていただきます。

●イソトレチノイン治療終了後の経過

多くの場合、ニキビができにくい肌になり再発しなくなりますが、30%前後の方に再発がみられます。もし、ニキビがまた出来やすくなっていくようでしたら、再度ご相談ください。ご希望される場合はイソトレチノイン内服治療を再度行います。再度治療を開始する場合は内服終了後 2 ヶ月以上あけてからおこないます。